

一般社団法人千葉県歯科技工士会生涯研修（基本課程）

講師 金井 孝行

教養分野（職業倫理 経営管理）

タイトル『歯科技工士会と会員と未入会との憶いとは！』

抄録

私は歯科技工士会に入会して約30年になりました。この30年間群馬県歯科技工士会の理事で現在も会長を続けています。

日本歯科技工士会理事と地域役員の両方を担当する様になり4年目に入り、ますます歯科技工士の、非常に厳しい労働環境、経営状態が長く続いている事を感じ、未だに話題になる昭和63年の大臣告示の通則の『100分の70』や平成25年の法人改革等の、問題に対して私なりに理解した事、やるべき問題をお話したい。

また、地方の役員、日技の理事をやる事で、会員の思い、役員の思い、未入会の考えが同じ方向である事を感じます。

そこで、それぞれの憶いをどのようにまとめ、一つにしていけるか皆さんの考えを聞き、現状をお話して進むべき道を見つけたいと考えます。

専門分野（有床義歯技工学）

タイトル『私自身のデンチャー装着から感じた事』

～治療・デザイン・材料・製作・装着から6年目～

抄録

私が歯科技工士になって40年になります。私自身デンチャーが大好きで40年間の技工人生はデンチャーを制作してきました。

講演会でも『愛・Love・デンチャー』研修会では『誰でも・どこでも・簡単にできるキャストパーシャル』のタイトルでデンチャーにかかわってきました。

そんな私が、私自身の口腔内に上顎片側遊離端義歯を、制作し装着して6年が経っています。

その経験を治療から材料を中心に、補綴構造設計、装着時から現在までを私がデンチャーを入れて感じた事、患者に対して歯科技工士が考えなければいけない事などを、私の大好きなデンチャー経験をお話しする事で、少しでも聞いて頂いた皆さんの、日常の臨床にお役に立ちたいと考えます。